

How to!

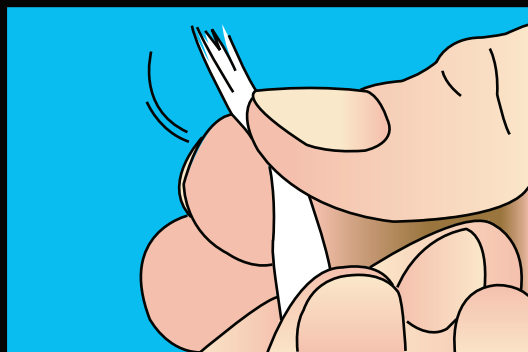
筆のおろし方

お買い上げ頂き誠に有難うございます。あらかじめ揃えてあるもの以外の筆は、お買い上げ時には穂を固めた状態で店頭に出しているため、そのままではお使いになれません。ご使用頂く前に、固まった穂をほぐし、固めてあるふのりを落とす「筆おろし」を行って頂きます。これから書を始められるにあたり、筆とのお付き合いは最初が肝心です。丁寧にいきましょう。

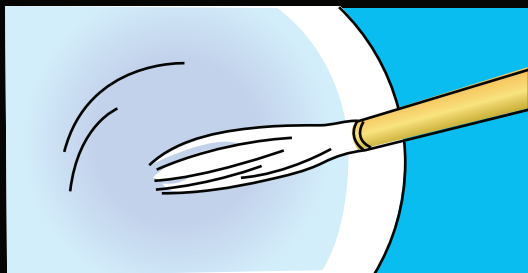
ほぐし方は、どこまでおろすかによって決まります。基本的に大筆は全体を、小筆は全体の1/3～半分くらいまでを目安におろされる方が多いですが、お教室の先生によって様々です。不安な時はそのままお教室に持って行って、先生や教室の方に聞いてみると良いでしょう。ただ、途中までおろした場合、いつもある一定の部分が紙に当たって消耗が早く、また溜め洗いが出来ずおろした部分と固めてある部分との境目に墨が溜まってしまうため、全体をおろした時と比べると長くは使用に耐えられなくなります。

小筆

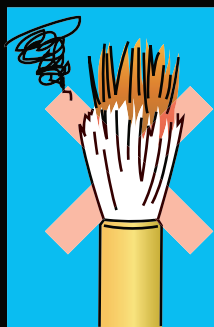
N. Kaibundo



①穂の部分を軽く持ち、回しながら丁寧にほぐします。



②ほぐし終わったら、水(またはぬるま湯)につけてふのりを取ります。途中までおろした場合は、全体を濡らさないように注意して下さい。

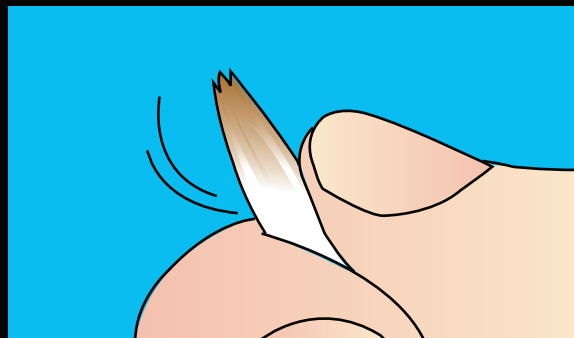


× 注意!

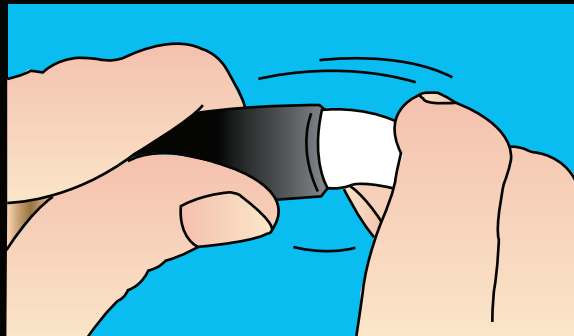
周りに飾り毛がついた筆の場合は、中央の毛のみをおろします。全部おろしてしまうと中央の毛を抑えている飾り毛がスカートのように広がってしまい、かえって使いにくくなってしまいます。気を付けましょう。

中・大筆

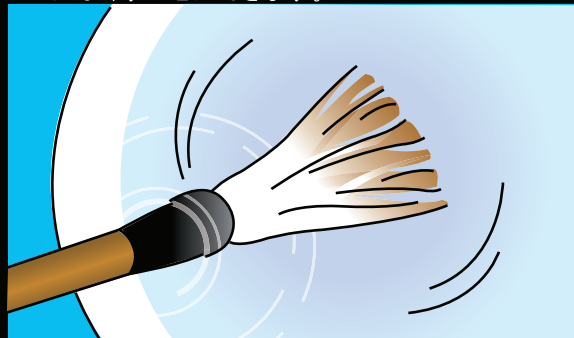
N. Kaibundo



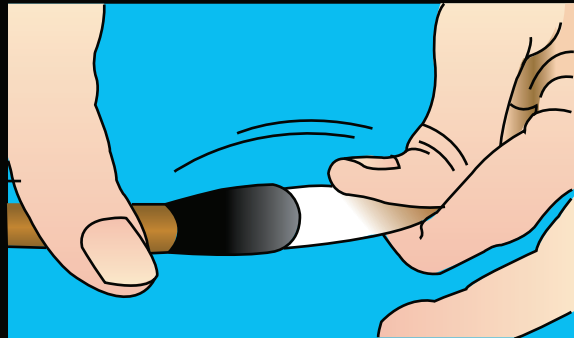
①穂の部分を軽く持ち、回しながら穂先から少しずつほぐします。



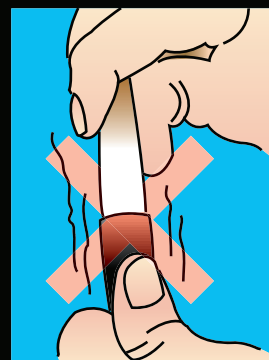
②穂先がほぐれてきたら、徐々に軸に近い部分もほぐしていきます。水につけながら行くと、よりスムーズにほぐすことができます。



③根元までしっかりとほぐしたら、適当な容器に水(またはぬるま湯)を溜め、穂を軽く洗ってふのりをおとします。



④指先でやさしく穂をしごき、ふのりのついた液を取れば完了。墨をつけて書き始められます。



× 注意!

固まった穂を無理に力を入れてねじると、軸が傷み穂が抜ける場合があります。